平成２５年度研究成果報告書《平成 25 年度教育課程研究指定校事業》

都道府県・指定都市番号	1	都道府県・指定都市名	北海道
ふりがな 学校名 （児童数）	ほっかいどうきょういくだいがくふぞくはこだてしょうがっこう 北海道教育大学附属函館小学校 （444 人）		

（本研究に係る問い合わせ先）
所在地：北海道函館市美原３丁目４８番６号
電話番号：０１３８‐４６‐２２３５
研究内容等を掲載しているウェブサイトの URL：http://www.hak.hokkyodai.ac.jp/~f-shog-m/

【研究成果のポイント】

○研究課題番号：２小学校
○研究対象教科等：保健体育
○研究のキーワード：ボール運動，年間指導計画，夢中になるゲーム，課題解決的な学び
○研究成果のポイント：ボール運動領域を取り上げ，系統的に学習できる年間指導計画の作成し，児童が主体的に課題解決を図る授業実践を提案した。

（１）研究主題

子どもが課題解決を目指し，夢中になって学習する授業の創造 ～「タグラグビー」「キャッチバレーボール」及び「保健」の授業実践を通して～

（２）研究主題設定の理由

○　「E　ボール運動」系の領域において，相手を尊重し，ルールやマナー守り楽しいゲームを創りあげることを基盤とし,作戦を考えることを重視しながら,ゲームをよ　り一層楽しむことができる授業の展開を目指す。

○　保健領域「(２)育ちゆく体と私」において，課題を明らかにしながら，その課題を解決する活動を通して，健康に対する確かな理解と健康的に生活しようとする態度を育てる授業を展開することを目指す。

（３）研究体制

校内体制

○　研究計画については，指定校プロジェクトチームを中心に推進していく
○　研究部を中心とした先行研究・先行実践の調査および授業づくり
○　4・6 年団による授業実践と検証

校外体制

○　函館市体育教育研究会との協同研究会の実施
○　北海道教育大学函館校との研究交流
○　北海道教育大学附属小学校（釧路）との研究交流

（４）１年間の主な取組の経過

平成25年度	○　研究推進計画の作成（組織，年間スケジュール，仮説，検証方法　等） ○　函館市体育教育研究会との協同研究会の実施 ○　実践に向けた学習指導案の作成（指導計画，評価計画） ○　校内研における授業実践と授業公開および，研究協議 ○　本校教育研究大会の実施及び検証 ○　今までの実践の成果と課題を明確化し研究推進計画の工夫・改善 ○　教科調査官を招聘した授業実践および研究協議 ○　発表資料の作成 ○　研究のまとめ

（５）具体的な研究内容・方法，研究を進める上での工夫点等

①　ボール運動系領域単元全体計画の作成

・　発達段階をふまえ指導内容の明確化を図り，ボール運動系領域単元全体計画を見直す

②　課題解決を目指し，夢中になって運動に取り組む単元・一単位時間レベルにおけるポイントをタグラグビーとキャッチバレーの実践を通して考察する

・　身に付けさせたい力を明確にし，その力が身に付けられるゲームの設定

・　子供が課題解決への見通しがもてる教師の手立て

③　保健領域において，子供の思考・判断場面を生み出す授業の実践

・　習得した知識を生かして，思考する学習活動を取り入れた授業実践

・　言語活動を積極的に取り入れた授業実践

【研究成果とその意義等】

（１）研究成果

①　ボール運動系領域単元全体計画の作成

・　ボール運動系領域単元全体計画を見直すことで，教師は６年間の見通しがもて，意図的・計画的に学習を展開しやすくなる。また，年間指導計画を見直し，実践することで，身に付けさせたい力がより具体的になっていくことがわかった。定期的に年間指導計画見直しの必要性を実感することができた。

②　課題解決を目指し，夢中になって運動に取り組む単元・一単位時間レベルにおけるポイントをタグラグビーとキャッチバレーの実践を通して考察する

・　単元序盤は十分にゲーム時間を保障し，ゲームでの気付きを全体で交流したり，教師の適切な課題提示や発問などを行う。これにより，ゲームから子供の実感に基づく課題をもてるようにしていく。こうすることで，子供達は主体的に課題解決を図る姿が見られた。

また，単元中盤以降はチームで課題を共有し，その課題を仲間と共に解決していけるよう，チームでの活動時間を保障した。さらに，各チームへの具体的なフィードバックや資料提供が子供達の課題意識やその解決に向かう意欲を高めていた。

③　保健領域において，子供の思考・判断場面を生み出す授業の実践

・　調べたことを友達と伝え合う伝える活動や，習得した知識を基に「○○の場合あなたならどうしますか？」といった具体的事例から自分の考えをもつような，知識を活用する学習活動を意図的に取り入れた。これにより子供達は知識を確かなものにしていった。

（２）研究成果の意義等

①　ボール運動系領域単元全体計画に関しては，その考え方を含め，各学校の参考資料となる。

②　「全体での学び」→「グループでの課題解決」という学習過程の提案。

③　保健授業における課題解決型学習の提案。

（３）指定期間終了後の取組

①　年間指導計画の検討を継続していく。

②　運動領域における，思考力・判断力を高める課題解決型学習の在り方。

③　保健領域における，思考力・判断力を高める課題解決型学習の在り方。